



2年学年だより

発行日：令和8年3月25日(水)

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

学校長：二上 直子 NO. 11



12期生 卒業証書授与式

校長代理 中澤 務

3月19日(木)に附属中学校第12回卒業式が行われました。卒業式では私から卒業生一人ひとりに卒業証書をお渡し、式辞として、メッセージを送りました。その内容を要約してお伝えします。

附属中学校の3年間では嬉しかったこと、楽しいことだけでなく、思うようにいかず悩んだ日もあったことでしょう。それでも仲間と励まし合い、先生や家族に相談しながら前に進んでいた姿を私は大切な成長としてとらえています。12期生の皆さんは、「仲間を思いやる優しさ」を大切に育んできました。困っている人に自然に声をかけ、仲間の成功を心から喜び、周囲の人を笑顔にしたいという気持ちを忘れずにいてくれます。また、自分の考えを深め、表現する力も大きく伸びました。総合的な学習の時間 EGG や個人研究では、自ら選んだテーマに向き合い、論文やプレゼンテーションで堂々と発表していました。3年間の学びの積み重ねが確かに形となっていました。

学校行事でも多くの場面で力を発揮しました。南高祭では、中学生と高校生が協力し、表に立つ役割も裏方の準備も責任をもって取り組みました。先日の体育祭の部でもこの学校らしい「協働する力」が存分に発揮されていました。研修旅行では、特にスマートフォンの扱い方について、生徒主体で議論を重ね、保護者の協力も得て新しいルールをつくりました。誰かの押し付けではなく、自分たちの手でよりよい学校生活をつくろうとする姿勢は、これからの附属中生にも引き継がれていくべき大きな一歩でした。沖縄での平和学習やホームステイでは、これまで培ったコミュニケーション力を発揮し、多様な価値観に触れながら積極的に交流をしていました。

部活動や各種大会、コンクールなど、皆さんが活躍する場は実に広く、そのすべてを追いかけることができませんでした。それでも、どの場面でも一人ひとりが努力を続けてくれたことに心から感謝しています。卒業生が進む道はさまざまですが、皆さんには共通する大切な経験があります。それは、「自分や仲間、周りの人を大切にして行動したこと」「つまずきながらも前に進もうとしてきた努力」です。これらは皆さんの宝物だし、必ず皆さんの支えになります。相手を理解しようとする想像力を一層伸ばしつつ、それぞれの場所で学び、挑戦し、そしてまた大きく成長していくことを願っています。

附属中学校の皆さんは普段から各教科や総合的な学習の時間 EGG など、社会全体や地球規模の問題についてよく考えていますね。広い視野から人を大切に思うその姿勢を続け、社会に出たときに、異なる文化や背景、価値観をもつ人と力を合わせることができる人になってくれたら、と期待しています。

この1年の皆さんの成果を振り返り、進級した学年でも一層仲間や周りの人を大切に思いながら、充実した学校生活を送ってください。